

かぜに アスナミンZ 第2類医薬品

成分・分量	効能・効果
6カプセル (大人の1日量)中 アスピリンアルミニウム 600mg アセトアミノフェン 600mg フロルフェナミンマレイン酸塩 7.5mg ジヒドロコデインリン酸塩 20mg dl-メチルエフェドリン塩酸塩 40mg 無水カフェイン 120mg チアミン塩化物 15mg リボフラビン 6mg ヘスペリジン 30mg 添加物:アルファー化デンプン、パレイショデンプン、 乳糖、C.M.C.a、ヒプロメロース、マクロゴール、 ポビドン、ヒプロメロースタル酸エステル、 グリセリン脂肪酸エステル、ステアリン酸、黄色5号、 赤色102号、ラウリル硫酸Na	かぜの諸症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和
6カプセル 製造販売元 佐藤薬品工業株式会社 奈良県磯原市観音寺町9番地の2 TEL:0744-28-0021 受付時間 9:00~16:30(土・日・祝日を除く)	用法・用量 大人(15歳以上) 1回2カプセル 1日3回 食後なるべく30分以内に服用してください。(15歳未満は服用しないでください)
	注意 1. 次の人は服用しないでください (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。 (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。 (3) 15歳未満の小児。 (4) 出産予定日12週以内の妊婦。 2. 服用後、薬物又は機械類の運転操作をしないでください。 3. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください。 4. 服用が過ぎない場合がありますので、服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。 5. 服用に際しては、説明文書をよくお読みください。 6. 直射日光の当たらない涼しい所に保管してください。

ここからお出し下さい

配置期限
製造番号

4 987272 100392

品目番号 奈良2巻44-222 02D20

副作用検査救済制度 ☎0120-149-931

9-2, Kan'nonji-Cho, Kashihara-City, Nara Prefecture.

SATO YAKUHIN KOGYO Co., Ltd. 60

非ピリン系

かぜに アスナミンZ 第2類医薬品

総合感冒薬 6cap.

かぜの発熱、頭痛、のどの痛み

かぜの発熱、頭痛、のどの痛み

1 2 3 4 5 6 7 8

2023年1月改訂（使用上の注意の改訂による追記：下線部）

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

かぜ薬の使用上の注意

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります）

1. 次の人は服用しないでください

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 15歳未満の小児。
- (4) 出産予定日12週以内の妊婦。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等
（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等）

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください

（眠気等があらわれることがあります。）

4. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください

5. 服用前後は飲酒しないでください

6. 長期連用しないでください



■ 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 高齢者。
- (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (5) 次の症状のある人。
高熱、排尿困難
- (6) 次の診断を受けた人。

甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障、呼吸機能障害、閉塞性睡眠時無呼吸症候群、肥満症

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便
精神神経系	めまい
泌尿器	排尿困難
その他	鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、発熱、のどの痛み、背中の痛み、過度の体温低下

裏面もお読みください。

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診察を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群(ステイブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死融解症、急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
薬剤性過敏症症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。
呼吸抑制	息切れ、息苦しさ等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

便秘、口のかかわき、眠気

4. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

〈用法・用量に関連する注意〉

(1) 用法・用量を厳守してください。

(2) カプセルの取り出し方

右図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)



保管及び取扱い上の注意

(1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。(2) 小児の手の届かない所に保管してください。(3) 他の容器に入れ替えないでください(誤用の原因になったり品質が変わります。)(4) 配置期限を過ぎた製品は服用しないでください。